

朝鮮学校から 未来を展望する



シリーズ〈共生の未来〉
シンポジウム

ウリハッキョ ホーム という故郷

金明俊 監督 × 鄭美英 × 金秀煥 × 鄭想根 × 中村一成

モンダンヨンピル ウトロ平和祈念館副館長 滋賀朝鮮初級学校校長 ジャーナリスト

12.1 (木) 18:30-21:00

会場地図

入場
無料

京都大学 吉田南キャンパス

吉田南総合館南棟 地下共南01教室



金明俊監督の名作 映画「ウリハッキョ」(2006) 上映！

16:00-18:15 | 開場15:50 | 総合人間学部棟 地下1B05

11/28, 29, 30 参考上映あり(裏面参照) ★ シンポの会場と映画上映の会場が異なります。ご注意ください

人間にとって、ホームとは何でしょうか。ホームランド[故郷/祖国]とは何でしょうか。朝鮮語で「ウリ」は「私たち」、「ハッキョ」は「学校」、「ウリハッキョ」は「私たちの学校」を意味します。北海道の朝鮮初中高級学校を舞台にしたドキュメンタリー映画「ウリハッキョ」の監督、韓国の金明俊さんをメインゲストにお招きし、ウリハッキョとは何なのか、さらにウリハッキョというトポスから、私たちとホームランドの関係性と未来について、多様なゲストとともに考えます。

18:30 開演 主催者挨拶
18:40 監督トーク
19:25 パネル・ディスカッション
監督×鄭美英×金秀煥×鄭想根×中村一成
司会：岡真理
20:30 質疑応答
21:00 終了予定



キム・ミョンジュン (金明俊)

1971年2月10日、大邱生まれ。1999年、漢陽大学演劇映画学科卒業。監督作品に、朝鮮戦後の在日朝鮮人高校球児の韓国訪問試合を描いた「海峡を越えた野球少年(原題:グラウンドの異邦人)」(2014年)、北海道の朝鮮初中高級学校を描いた「ウリハッキョ」(2006年、釜山国際映画祭ドキュメンタリー部門最優秀賞受賞)。

2007年からは、「在日朝鮮学校」をテーマに各種の団体や学校で講義を行い、2011年3月の東日本大震災をきっかけに「地震被害を受けた朝鮮学校と共にする人々、モンダンヨンピル」を任意団体として設立、執行委員長役員を務め、2012年10月からは、NPO法人「朝鮮学校と共にする人々、モンダンヨンピル」(代表:クォン・ヘヒョ)の設立事務総長として、現在まで歴任。

チョン・ミョン (鄭美英)

韓国外国語大学日本語学卒。2017年「図書出版プム」設立、社長兼翻訳家。訳書に、朴基碩『ぼくらの旗一君はあの頃(都立)の東京朝高生を知っているか?』、中村一成『ルポ京都朝鮮学校襲撃事件』『ウトロ ここで生き、ここで死ぬ』、黄英治『あの壁まで』、金満里『生きることのはじまり』ほか。モンダンヨンピル事務局の出版チーム長。

*朝鮮学校と共にする人々「モンダンヨンピル」

「モンダンヨンピル」とはちびた鉛筆のこと。手に握ることもできなくなった鉛筆にボールペンの握り手をつけて子どもの勉強を応援したオモニ・アボジたちの思いを込めて作った団体名。韓国社会へ朝鮮学校の存在と現況を知らせることで、学校を応援する人々を増やす活動をしている。解放後、日本各地で学校を作り、民族教育を守ってきた歴史を学ぶのも重要な活動の一つ。

金秀煥 (キム・スファン)

1976年生まれ。コリアン3世。幼少期から朝鮮学校で学び、朝鮮大学校政治経済学部卒業。卒業後は民族団体に所属し、2010年からウトロ地区にある南山城同胞センターに勤務。ウトロ地区では住民の生活支援とウトロを訪れる人びとの案内などを務め、現在はウトロ平和祈念館副館長。

鄭想根 (チョン・サンゲン)

1958年滋賀生まれ。コリアン2.5世。滋賀朝鮮初級学校校長。思想信条や民族の違いを超えて「人」が出会う場を創るために、2006年より同校を会場に「ウリハッキョ・マダン」を毎年開催。ウリハッキョが地域の「私たちの学校」となる未来に向けて、「誠信の交わり」を発信し続ける。

中村 一成 (なかむら・イルソン)

新聞記者を経て、現在はフリージャーナリスト。在日朝鮮人、移民労働者、死刑などマイノリティの人権がテーマ。著書に『ルポ京都朝鮮学校襲撃事件』『思想としての朝鮮籍』『映画でみる移民/難民/レイシズム』『ウトロここで生き、ここで死ぬ』ほか。

岡真理 (おか・まり)

京都大学大学院人間・環境学研究科教授、専門は現代アラブ文学、パレスチナ問題。著書に『彼女の「正しい」名前とは何か』『棗椰子の木陰で』『アラブ、祈りとしての文学』『ガザに地下鉄が走る日』ほか。

シンポジウムに先立ち 3日間 参考上映を行います。

11.28 (月)「ウリハッキョ」(131分)
11.29 (火)「蒼のシンフォニー」
(朴英二監督、2016年、95分)
11.30 (水)「ウリハッキョ」

18:30 スタート
吉田南キャンパス
総合人間学部棟 地下 1B05

入場無料!

上映会場地図



主催：科研基盤研究 (A)「トランスナショナル時代の人間と「祖国」の関係性をめぐる人文的、領域横断的研究」[代表:岡真理] 協力：朝鮮学校と民族教育の発展をめざす会・京滋 (こっぽんおり)
問合せ:projectwatan3@gmail.com (担当:西道) <http://www.projectwatan.jp/>